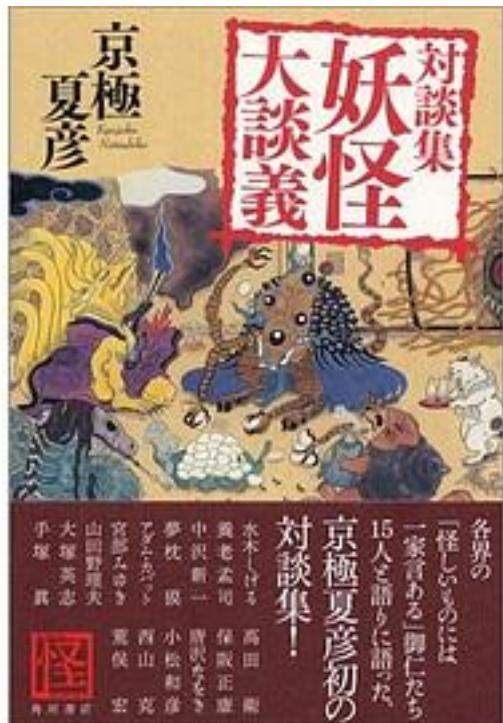


京極夏彦対談集 妖怪大談義



京極夏彦対談集 妖怪大談義 下载链接1

著者:[日] 京極夏彦

出版者:角川書店

出版时间:2005-7-1

装帧:单行本

isbn:9784048839259

各界の「怪しいものには一家言ある」御仁たち15人と語りに語った、京極夏彦初の
対談集

作者介绍·

京極夏彦(キヨウゴクナツヒコ)

小説家・童画家。1963年北海道生まれ。94年、かねてよりアイデアを温めていた

た妖怪小説『姑獲鳥の夏』で鮮烈な小説家デビュー。著作は95年『魍魎の匣』（第49回日本推理作家協会賞受賞）、97年『嗤う伊右衛門』（第25回泉鏡花文学賞受賞）、02年『覗き小平次』（第16回山本周五郎賞受賞）、03年『後巷説百物語』（第130回直木賞受賞）ほか（本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです）

目录: 水木しげる—妖怪が深める師弟の絆
養老孟司—脳化社会の妖怪たち
中沢新一—ダンディな惡なる自然
夢枕獏—闘う陰陽師作家、嗤う妖怪作家
アダム・カバット—江戸の妖怪キャラクター
宮部みゆき—妖怪と心の闇をのぞく
山田野理夫—妖怪と怪談の真髄
大塚英志—民俗学は偽史だったのか?
手塚真一—妖怪を生み出す手法
高田衛一—偉大なる我らのエンタテインメント
保阪正康一「妖怪」がわかれれば「昭和」もわかる
唐沢なをき—妖怪図鑑は、愛と勝負感できる!
小松和彦—妖怪学の現在
西山克一怪異学とは何か?
・・・・・ (收起)

[京極夏彦対談集 妖怪大談義 下载链接1](#)

标签

京極夏彦

日本

妖怪

日本文学

京极夏彦

奇幻

京極夏彥

神话/怪谈/民俗学

评论

一群爱着妖怪的人（？）的对谈集。京极先生的博学实在令人叹服（叔我给你跪了！）。虽然很怨念里面没有插图，不过这本还是要强推。无论是喜欢京极夏彦的人，或是不喜欢他但是对妖怪感兴趣的人，都能从这本书中得到大满足。

阅读于太原岛上书店。这个书店这几天对我来说就像沙漠里的一片绿洲。老板好像很喜欢京极夏彦的妖怪世界。真是奇妙的际遇。

对于京极夏彦的妖怪文学，是很喜欢的。

[京極夏彦対談集 妖怪大談義 下载链接1](#)

书评

[京極夏彦対談集 妖怪大談義 下载链接1](#)